



恢兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

闇

【Nコード】

N8419Q

【作者名】

恢兎

【あらすじ】

女の子のお話。

微グロ注意

午前2時。

親が寝静まり、テレビも

芸人が、面白くない下ネタ等を話す時間帯。

あたしは、スタンドライトの微かな灯りだけを頼りに、
机の引出しを開け、其処から？其れ？を取り出す。

あたしは、？其れ？の感触に僅かな興奮を覚える。

だが、まだ其の行為に浸るわけにはいかない。

あたしは、違う段の引出しを開け、
コップと透明なビニル袋を取り出す。
そして其れ等を机の上に置く。

――ヒタ、

準備が出来た途端、聞こえた足音。

ああああ、彼奴が今夜も――。

早く、早く早く早く早く。

あたしは、ティッシュを二枚重ねて机に置き、

其の上に先ほど取り出したコップを置く。

——つう。

コップの上に手首を置き、

あたしは一思いに其れで——手首を切る。

ぱくり、と割れた其処から、

滲む血。それはだんだん、溢れ、あたしの心を侵す。

ぽた、ぽた。溢れる血は、あたしの心と、

薄く赤がこびり付いたコップと生きている実感を

全て1度で満たしてくれる。

いつの間にか、足音は消えていた。

彼奴は、あたしにこの神聖な行為を

早く、早くしろとせがみ、走り回る。

全く、迷惑だ。

その小さなコップ一杯分溜まれば、

傷口を心臓より高く上げ、我流の止血方法で止血する。

あたしの手首や、腕や、足は、もうボロボロなのだ。

——汚い、

違う。これは、あたしの生きている証なのだ。

コップの紅色を、3分の1、呑む。

―今回は、鉄分が足りないかな。

そんな事を考えつつ、残りの紅を、
ビニル袋に移し変える。

其処に、今日の日付と時間を書いた付箋を貼れば―

引出しの、一番下へ仕舞おう。

―紅赤紅赤紅赤紅赤。

この行為は、
あたしの、存在を照明する、
神聖なる儀式。

（後書き）

どうでしたか？

今までの作品全てを消して、
改めて投稿で御座います。

自傷の話になっていますが、
表現の仕方はどうでしたでしょうか？

ネタバレになっちゃいますが、
足音というのは、女の子が
見ている幻覚です。

グダグダで申し訳ありません。
よければ、感想等お待ちしております。

2011・2・12 恢兎

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8419q/>

闇

2011年10月8日13時38分発行